

別紙

本件コーナー

画面

セリフ

本件著作物

自転車マンが光粒の
中から登場

自転車マン
「やあ、僕は自転車マン。君は自転車に補助輪無しで乗りたいと思わないかい。」

男の子
「乗りたい。でも、難しそうでできないんだもん。」

自転車マン
「大丈夫だよ。じゃあ、これから、上手に補助輪無しで自転車に乗れる乗り方を教えよう。シュワッチ。」

ポイント① じてんしゃをチェック

自転車マン、タイヤ
を指さす

自転車マン
「ここがタイヤ。空気はちやんと入

男の子、タイヤを押
して確かめる、ハンド

男の子
「うん。パンパンだよ。」

自転車の点検（P18）
タイヤの空気は、抜けていないかどうか。（P19）
ハンドルは、前輪と直角

ルを指さす

自転車マン、ブレーキをかけてみせる

自転車マン、サドルを指さす

男の子、自転車にまたがって確かめる

自転車マン、自転車にまたがってみせる

男の子、自転車にまたがって両足を離し

「ここがハンドル。曲がつていないかな。」

男の子
「うん。曲がつていないよ。」

自転車マン
「ここが、ブレーキ。グッとにぎるとタイヤがとまるよ」

自転車マン

「ここがサドル。足が地面にちゃんと着く高さになっているかな。またがつて確かめてみよう。」

男の子

「うん、大丈夫。足が地面に付いているよ。」

自転車マン
「シェワツチ。」

ポイント②りようあしでけつてスイスイ!

自転車マン

「少し体を前に倒して、両方の足を地面から離してみよう。ちよつとでも倒れずにいたらOK。さあ、やつてごらん。」

に交わるように固定されているかどうか。(P 1 2)

ブレーキは、後輪(左手)前輪(右手)ともよく効くかどうか。(P 1 3)

サドルはいちばん低く固定されているかどうか。(P 1 8 1)

実地練習 (P 2 1)

(P 2 4 図)

この状態では、地面に着いている両足先には全然力が加かっていない感じになり、両足先を同時に地面から離しても、少しの間でしたら倒れませ

てみる
自転車マン、拍手す
る
自転車マン、
自転車マン、
を走らせる

男の子、
自転車を走
らせる

自転車マン
「うまい、うまい、上手だよ。」
自転車マン

「次は、こうやってスイスイ。
両足で蹴って自転車を走らせるよ。
フラフラしないように、体をまっす
ぐにして前を見るんだよ。」

男の子
「転ばないかなあ。」

自転車マン

「大丈夫だよ。もし、倒れそうにな
ったら、左のブレーキをかけて、両
足を地面に着けるんだ。さあ、が
んばってやってごらん。」

男の子
「うん。」

自転車マン

「よし、いいぞ。続けて何回蹴っ
てもフラフラしなくない。うまい、
スイスイ。うまい、うまい。OKだ。
ユウツチ。」

ん。(P 2 2 2)

前述の1で想定した、両
輪を結ぶ直線上の、前方
に定めた視点を目標とし、
へ蹴って、自転車を発進
させます。蹴ったら足は
地面から少しはなして、
ださい。(P 2 6 1 4
行目)
左右いずれかへ傾いて、
バランスが崩れそうにな
ったら、左(後輪)のブ
レーキレバーを軽く握り
しめると止まりますか
ら、両足先を地面へ着け
てください。(P 2 7
2行目)
続けて何回か足で蹴って
も、うまく走れるようにな
わないうまく走れるようにな
つてくると、練習もぐん
と楽しくなり、進みます。
次の段階へと進みます。

自転車走らせ
てい
る
ペ
タル
部
分
の
ア
ッ
イ

ポイント③ペダルをふもう！
「さあ、いいよペダルを踏むよ。
まず、ペダルに足をのせて力いっば
い踏んでみるんだ。次は反対の足を
踏むよ。また反対、反対、どうだ
い。」

自転車マン

「もし、こっちに倒れそうになつた
ら、ハンドルをこういう向きに変え
れば、いいんだ。逆に倒れそうになつ
たら、ハンドルをこういう向きに変
えるんだよ。そして、スピードを落
とさないように強くペダルを踏むん
だよ。」

自転車マン

「次は、ブレーキをかけてみよう。
ブレーキをかけるときは、まず左
のブレーキをかけて、そして、左足
を地面に着けるよ。さあ、やって左
よう。前を見て、ペダルを思いつき
り踏むんだよ。」

ペダルを踏む（P30）
上にあがつている（P30）
ペダル（右が上になつて）
いると思ひます（を踏んで）
で、ださい。バランスを
崩さずに走れたら、今度
は反対側のペダルを踏み
ます。そのまま交互にペ
ダルを踏みます。（よい）
わけて踏みます。（P301）
1行目）
車体が左へ倒れそうにな
つたら、ハンドルを左へ
右へ倒れそうになつたら
右へ（つまり、倒れそうに
なつた側へ）、ハンドルを
をきり、スピードを落と
さないようにペダルを踏
み続けよう。（P30）
13行目）
止まるときは、左（後
輪）のブレーキを止まり
軽く握り締める（左）
ますから、車体を左へ傾
けて、左足を先に地面に
2行目）
けてください。（P31）

男の子、自転車を走らせる

男の子、ガッツポーズ

自転車マン、姿を消す
男の子、手を振る

男の子

「よし、出発。」

自転車マン

「そう、ペダルを順番に踏んで。」

「そうだ。」

「倒れそうになったら、ハンドルの向きを変える。」

「うまいぞ。」

男の子

「やったー。乗れた。」

自転車マン

「自転車に乗る練習は車が来ない広いところでおうちの人と一緒にやってね。約束だよ。じゃあさらば。」

そのまま交互にペダルを踏み続けられよいわけです。(P 3 0 1 2 行目)
車体が左へ倒れそうになったら、右へ倒れそうになったら、右へ(つまり倒れそうになつた側へ)、ハンドルの向きをきり、スピードを落とさないようにペダルを踏み続けます。(P 3 0 1 3 行目)